



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール

コード番号 8005 URL <https://www.scroll.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴見 知久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括部長 (氏名) 杉本 泰宣 TEL 053-464-1114

四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 2022年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	40,965	△2.1	3,496	△25.3	3,373	△28.4	2,333	△27.8
2022年3月期第2四半期	41,830	—	4,680	—	4,708	—	3,231	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,402百万円 (△26.2%) 2022年3月期第2四半期 3,254百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	66.88	—
2022年3月期第2四半期	92.69	—

(注) 2022年3月期第2四半期については「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等の適用初年度となるため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2023年3月期第2四半期	50,170		30,630		61.1	
2022年3月期	49,711		30,037		60.4	

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 30,630百万円 2022年3月期 30,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	54.50	64.50
2023年3月期	—	10.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	25.50	35.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	△2.9	4,500	△35.7	4,500	△36.6	3,100	△44.5	88.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	34,981,050株	2022年3月期	34,873,050株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	7,565株	2022年3月期	7,381株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	34,888,594株	2022年3月期2Q	34,866,060株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は、2022年10月28日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限が緩和されたことにより、経済活動の正常化に向けた動きが見受けられる一方、新たな変異株による感染の急拡大や、エネルギー・原材料価格の高騰、急激な円安による輸入コストの上昇、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化等の影響に加えて、世界的な景気後退の懸念により、先行きは不透明な状況が続いております。小売業界におきましては、仕入価格や物流費をはじめとした各種コストの増加に加え、急激な物価上昇に伴い消費マインドは低下しており、厳しい経営環境となっております。通販業界におきましては、参入企業の増加に伴い業種・業態を越えた競争が激化しております。

このような環境のなか、当社グループは「DMC (Direct Marketing Conglomerate) 複合通販企業の変容と進化」をテーマとする中期経営計画「Next Evolution 2024」において、「第二次DMC複合通販経営の推進」及び「Responsibility経営の取組み強化」を二大重点方針として掲げ、売上成長と収益性向上の両立に向けて各事業セグメントのビジネスモデルの進化を図るとともに、環境・社会課題の解決に向けた取組みを推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高40,965百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。利益面におきましては、営業利益3,496百万円（同25.3%減）、経常利益3,373百万円（同28.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,333百万円（同27.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

前連結会計年度まで、6つの報告セグメントにて事業を展開してまいりましたが、第1四半期連結会計期間より、経営の効率化を図るため、従来の「健粧品事業」及び「旅行事業」セグメントを「HBT (Health & Beauty & Travel) 事業」セグメントとして統合し、5つの報告セグメントへと変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」をご参照ください。

なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

① 通販事業

通販事業におきましては、巣ごもり消費の反動減の影響に加えて、行動制限の緩和に伴う購買行動の変化や上海のロックダウンの影響を受け一時的に受注が減少したものの、その後は前期並みに推移いたしました。また、原材料価格が高騰するなか、引き続き商品調達方法の見直しによる原価率の低減や効率的なカタログ配布など、事業効率の最大化に向けた取組みを進める一方、新たなSDGs商品やサステナビリティサービスの展開にも取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は21,263百万円（前年同四半期比6.6%減）となり、セグメント利益は3,341百万円（同21.4%減）となりました。

② ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、拡大を続けるEC・通販市場において、物流代行サービスにおける新規クライアントの稼働開始や、SLCみらいに次ぐ新たな物流センターとなる「SLC春日部」の開設など、物流代行サービスの業容の拡大を進め、全国通販3PL戦略の推進に取り組んでまいりました。加えて、販促支援型コンタクトセンター「八王子センター」の開設、新たにECショップ運営代行サービスの提供開始など、サービスメニューの拡充にも努めております。また、決済代行サービスやマーケティングサポート事業につきましても、堅調に推移しております。

以上の結果、売上高は10,094百万円（同15.0%増）となり、セグメント利益は229百万円（同38.2%増）となりました。

③ eコマース事業

eコマース事業におきましては、オリジナル商品の開発や最適な商品調達ルートの開拓などに努めてまいりましたが、アウトドア・キャンプ商材において業種・業態を越えた競争が激化していることや、ブランドバッグ等の需要が回復していないことの影響を大きく受けました。なお、アウトドア・キャンプ商材につきましては販売状況を鑑み、不稼働在庫の評価損を計上いたしました。

以上の結果、売上高は10,170百万円（同4.8%減）となり、セグメント損失は235百万円（前年同四半期はセグメント利益181百万円）となりました。

④ HBT事業

HBT事業におきましては、化粧品・健康食品ビジネスにおいて、新規顧客獲得に向けた新たな商材の営業活動を強化いたしました。また、旅行ビジネスにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が一巡したことにより、徐々に回復の兆しをみせているものの、引き続き不透明な状況となっております。なお、2022年3月に化粧品子会社2社の保有株式を売却したことに伴い、売上高が減少しております。

以上の結果、売上高は660百万円（前年同四半期比38.7%減）となり、セグメント損失は95百万円（前年同四半期はセグメント利益3百万円）となりました。

⑤ グループ管轄事業

グループ管轄事業におきましては、自社保有物流施設等の不動産賃貸、当社グループの物流オペレーション及び海外子会社の管理を行っております。物流オペレーションにおいては、東海・関西・関東エリアにおけるオペレーション強化を進め、新規クライアントへの対応を含め、安定的な運営体制の構築に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は1,688百万円（前年同四半期比1.9%増）となり、セグメント利益は100百万円（同16.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は50,170百万円となり、前連結会計年度末に比べ458百万円増加いたしました。この主な要因は、棚卸資産の増加、現金及び預金の減少によるものであります。

(負債)

負債は19,539百万円となり、前連結会計年度末に比べ133百万円減少いたしました。この主な要因は、未払金の減少、未払法人税等の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は30,630百万円となり、前連結会計年度末に比べ592百万円増加し、自己資本比率は61.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ952百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は6,189百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,205百万円（前年同四半期は538百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上、棚卸資産の増加などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は232百万円（前年同四半期は491百万円の使用）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,944百万円（前年同四半期は3,074百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月10日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました2023年3月期の通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2022年10月28日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,142	6,189
売掛金	11,403	11,814
棚卸資産	8,185	9,690
その他	5,916	5,610
貸倒引当金	△415	△443
流動資産合計	32,233	32,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,866	6,690
土地	5,520	5,520
その他(純額)	1,149	1,065
有形固定資産合計	13,537	13,276
無形固定資産		
のれん	85	64
その他	806	767
無形固定資産合計	892	831
投資その他の資産		
その他	3,437	3,604
貸倒引当金	△388	△404
投資その他の資産合計	3,048	3,200
固定資産合計	17,477	17,308
資産合計	49,711	50,170
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,963	2,871
短期借入金	75	3,025
未払金	7,241	6,156
未払法人税等	228	1,258
賞与引当金	477	501
その他の引当金	3	2
その他	1,061	1,061
流動負債合計	12,051	14,877
固定負債		
長期借入金	6,000	3,000
引当金	57	55
退職給付に係る負債	1,403	1,442
その他	160	163
固定負債合計	7,621	4,662
負債合計	19,673	19,539

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,018	6,064
資本剰余金	6,644	6,993
利益剰余金	16,726	16,856
自己株式	△4	△4
株主資本合計	29,385	29,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464	455
繰延ヘッジ損益	150	202
為替換算調整勘定	37	62
その他の包括利益累計額合計	652	720
純資産合計	30,037	30,630
負債純資産合計	49,711	50,170

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	41,830	40,965
売上原価	25,891	25,750
売上総利益	15,939	15,214
販売費及び一般管理費	11,258	11,718
営業利益	4,680	3,496
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	25	25
その他	16	28
営業外収益合計	50	63
営業外費用		
支払利息	16	10
為替差損	2	174
その他	3	2
営業外費用合計	22	187
経常利益	4,708	3,373
特別利益		
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	6
投資有価証券売却損	—	2
特別損失合計	0	9
税金等調整前四半期純利益	4,708	3,374
法人税、住民税及び事業税	1,336	1,189
法人税等調整額	140	△147
法人税等合計	1,477	1,041
四半期純利益	3,231	2,333
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,231	2,333

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	3,231	2,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	△8
繰延ヘッジ損益	△38	52
為替換算調整勘定	18	25
その他の包括利益合計	23	68
四半期包括利益	3,254	2,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,254	2,402
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,708	3,374
減価償却費	529	478
のれん償却額	21	21
株式報酬費用	—	24
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△35	44
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△280	22
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△4	△2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	70	39
受取利息及び受取配当金	△34	△35
支払利息	16	10
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△8
固定資産除売却損益 (△は益)	0	6
営業債権の増減額 (△は増加)	△472	△415
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,157	△1,504
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△181	401
仕入債務の増減額 (△は減少)	91	△126
未払債務の増減額 (△は減少)	△1,305	△1,067
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△312	40
その他	5	0
小計	1,659	1,304
利息及び配当金の受取額	34	35
利息の支払額	△16	△10
法人税等の支払額	△2,216	△195
法人税等の還付額	—	72
営業活動によるキャッシュ・フロー	△538	1,205
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△360	△58
無形固定資産の取得による支出	△122	△142
投資有価証券の売却による収入	—	28
差入保証金の差入による支出	△18	△51
差入保証金の回収による収入	7	8
その他	1	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△491	△232
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△4,250	△50
配当金の支払額	△1,823	△1,893
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,074	△1,944
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,086	△952
現金及び現金同等物の期首残高	8,084	7,142
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,997	6,189

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	通販事業	ソリュー ション 事業	eコマース 事業	HBT事業	グループ 管轄事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	22,762	7,451	10,539	1,070	5	41,830	—	41,830
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	8	1,328	147	7	1,651	3,143	△3,143	—
計	22,771	8,779	10,687	1,078	1,657	44,973	△3,143	41,830
セグメント利益	4,250	166	181	3	119	4,722	△13	4,708

(注) 1. セグメント利益の調整額には、未実現利益等△13百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	通販事業	ソリュー ション 事業	eコマース 事業	HBT事業	グループ 管轄事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	21,261	8,904	10,133	655	10	40,965	—	40,965
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2	1,190	36	5	1,678	2,913	△2,913	—
計	21,263	10,094	10,170	660	1,688	43,878	△2,913	40,965
セグメント利益 又は損失(△)	3,341	229	△235	△95	100	3,339	33	3,373

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、未実現利益等33百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営の効率化を図るため、従来の「健粧品事業」と「旅行事業」を統合し、「HBT(Health & Beauty & Travel)事業」としております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。